

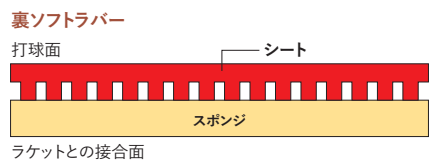
ラバー 基礎情報

ラバーは、ゴムでできていて「シート」と「スポンジ」の組み合わせにより、分類されます。主な種類とアイコンなどを紹介します。

ラバーの種類と特長

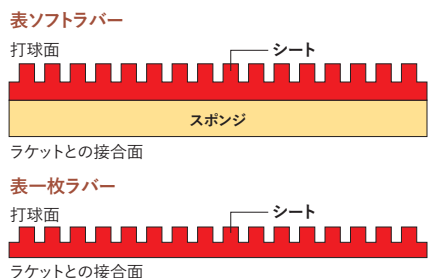
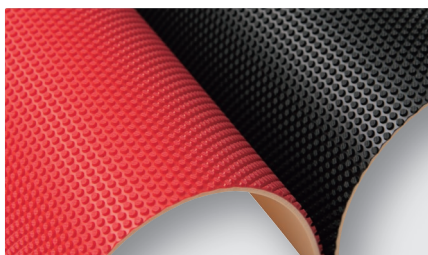
■裏ソフトラバー

表面が平らで摩擦力が大きいので、回転をかけやすい。反発力を重視したもの、回転を重視したもの、攻撃用・守備用などさまざまな種類がある。攻撃型の選手を中心に、もっとも多く使われている。



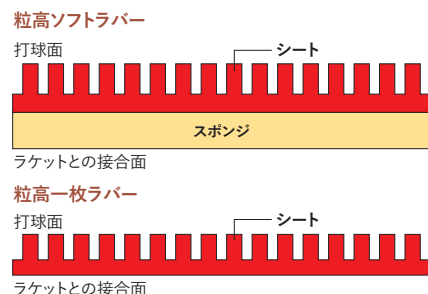
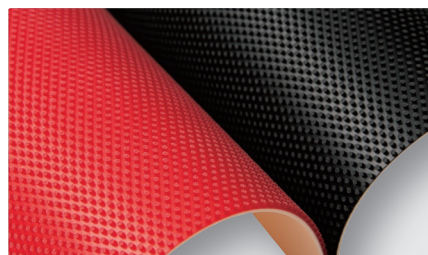
■表ソフト／表一枚ラバー

表面に粒が出ているので、球離れが速い(スピードが出やすい)。裏ソフトに比べて回転量は少ないが、相手の回転の影響も受けにくい。速いラリーで勝負する選手が使うことが多い。



■粒高ソフト／粒高一枚ラバー

表ソフトの粒の形状が長く、無回転のボールを出せる。回転がかかったボールに対しては、逆回転の変化にして返球できる。ボールの変化で勝負する選手が使用する。回転のかかるラバーとのコンビネーションにより特長を発揮する。



スポンジの厚さによる違い

■スポンジの厚さによる性質の違い

	超極薄・極薄・薄・中・中厚・厚・特厚・MAX	
スピード	小	大
コントロール	大	小
ディフェンス	大	小

■スポンジの厚さはさまざま

初心者には「中」や「厚」が使いやすく、スポンジが厚くなるほど、ボールにスピードや威力が出ますが、コントロールが難しくなります(重くなるので、ラケットが振りにくくなります)。ラバーは「スピードが出る=良い」ではありません。自分の技術や、目指す戦型に合わせてお選びください。

■スポンジの硬さもさまざま

シートを貼り合わせる前のスポンジの硬さを「スポンジ硬度」として数値化しています。数値低<35°<数値高
ソフト→ミドル→ハード
ソフト・ミドル・ハードは打球した時の感覚を表しています。ラケットとの組み合わせによって感覚が異なる場合があります。

スポンジ厚さ・スポンジスピードアイコン・分類説明

■スポンジ厚さ

超極薄	0.4mm ~ 0.7mm ULTRA SUPER THIN	極薄	0.9mm ~ 1.2mm SUPER THIN	薄	1.2mm ~ 1.4mm THIN	中	1.4mm ~ 1.7mm MIDDLE
厚	1.7mm ~ 1.9mm THICK	特厚	1.9mm ~ 2.1mm SUPER THICK	MAX	2.1mm ~ MAX		

※「中厚」表記があるものは1.5mm~1.7mm。

■スポンジスピードアイコン

15.25 スピード	数値が大きいほどスピードが出やすい	11.50 変化	数値が大きいほど変化が出やすい
14.50 スピン	数値が大きいほどスピンのかかりやすい	35.0 スポンジ硬度	シートを貼り合わせる前のスポンジの硬さ 数値低<35°<数値高 ソフト→ミドル→ハード

■分類

テンション

高い弾性を持つ。ラバーを構成するゴムを引っ張った(テンション)状態にしている。

ZC(ゼットチャージ)

チャージ配合をコンバージョン。シートとスポンジの張り感を高め反発力をアップ。

AC(アクティブチャージ)

ゴム本来が持つ弾力性能を引きだし、シートとスポンジに張り感を持たせた状態。食い込み感抜群。

IE(エネルギー集約型)

合成ゴムと天然ゴムの比重を従来の高弾性に比べ、合成ゴムの比率を高め、弾みが良い。比較的軽量で扱いやすいのが特長。

高弾性

反発力に優れスピードが出しやすく、シートの摩擦力が高く回転をかけやすい。伸びのある曲線を描く弾道で安定性が良い。

粘着性

ボールに強い回転をかけるのに適していて、弧を描く弾道で安定性がある。硬いラバーが多い。

コントロール

やわらかいスポンジとシートが主流で、ボールコントロールしやすい。反発力と摩擦力は低い。

変化系

ナックルなどのイレギュラーなボールを出しやすいのが特長。